

徳山の盆踊

国指定重要無形民俗文化財



昭和63年に国から重要無形民俗文化財の指定を受けた「徳山の盆踊」。

徳山古典芸能保存会員と町内の小中学生らが

「鹿ん舞」「ヒーヤイ」「狂言」の3種類の舞を

交互に披露し、訪れた見物客を魅了しました。

山下忠之保存会長は「天候不順にもかかわらず

関係者や多くのファンの願いが届き

開催することができ良かった」と感謝しました。



「出る出る出るよ～
鹿ん舞が出るよ～
宵出る出るよ～」

多くの拍手と歓声が送られた「ヒーヤイ」



愛宕地蔵でも多くの観客が訪れた



大きな掛け声で練り歩く「道行き」



見よう見まねで飛び入り参加♪

Interview 1

常葉大学・生涯学習活動研究会 「ためきの仲間たち」メンバー



“ぼによ”こと河上奈月さんは常葉大学教育学部3年生(写真④から2人目)。バス2台を使い、大学生45人、子ども14人で参加してくれました。河上さんは「今年で3回目の参加になります。川根本町のイメージは自然がいっぱいで、人があたたかい。伝統文化やふるさと体験を通して家族旅行と違った目線で、まだ知らない川根本町を発見してみたい」と話してくれました。イベントは準備が大変だと痛感したとも。

2



「牡鹿」役の梶山夢咲士さんは中川根中学校3年生。「舞に取り組んできた成果を見てもらいたい。特にジャンプが見所です」と意気込みを話してくれました。



夏休み食育スクール

食に感謝する

「皆で力を合わせ、楽しく調理することで、食のありがたみを学ぼう」と食推協（川根本町健康づくり食生活推進協議会・森下升美会長）主催の「夏休み食育スクール」が開催されました。毎年、夏休み期間中の小学生を対象に生活改善センターと文化会館の2会場で開催されています。

今年のメニューはそうめん、コーンのかき揚げ、フルーツサラダ、わらびもち。8月19日開催の生活改善センターでは、4人の食推協会員の皆さんの手ほどきで、慣れない包丁や火力の扱い方を学びました。「いちよう切り」ってどうやって切るの？「どれくらいかき混ぜたら出来上がりなの？」など一つ一つ疑問を解決しながら、皆で協力して4品を作り上げました。そして、お楽しみ品の「流しそうめん」の演出に大はしゃぎ。楽しみながら食の大切さを考える機会となりました。

▼分量にも気をつけて



▲包丁の使い方を学ぶ



▲揚げ物にも挑戦



▼協力しておいしく出来上がりました



▲バナナはサラダの具に



▲生クリームを泡立てる



▲表情は真剣そのもの



▲レシピをしっかりと確認